



玄海自然アート



かべかけ工作

活動内容	海浜や「玄海の家」敷地内に落ちている自然物を使って、作品を作ります。「玄海の家」での思い出を形にして残すことのできる活動です。海浜清掃などに関連付けて行うこともでき、拾ったものを作品に生かすこともできます。
------	---

対象	必要時間	活動人数	活動形態	
制限なし	1～3時間	制限なし	一斉	
活動場所	必要引率者	活動適正期間	自然・感性	◎ 創意工夫 ◎
各研修室	安全管理	通年	主体・計画	◎ 協調・協働
			粘り強さ	人間関係

活動の流れ	利用団体		「玄海の家」の職員	
	事前	【打合】活動場所	【打合】活動場所	
		説明開始時間、準備物、貸出物等の確認		
		【準備】使用する装飾を松林・海浜等で拾っておく ※活動中に拾いに行ってもよい	【準備】工作で使用する物品の用意	
	活動	【集合】活動場所 ①説明を聞く(10分) ②自然物を集めに行く(活動前でも可) ※荒天時は持参推奨 ③工作開始 ・グルーガンや木工用ボンドを用いて作品を作る ・油性マジック等で色を塗ってもよい ・かべかけ工作は麻ひもとヒートンをつける ・マグネット工作はマグネットをつける ④鑑賞(お互いの作品を鑑賞する) 【片付】使用した用具と研修室の片づけを行う 【解散】研修生は引率者の指示に従う		【指導】活動上の指導を行う ・工作の説明、片付け ・グルーガンの使用方法 ・諸注意
事後		【片付】物品を返却、活動場所の清掃	【片付】物品の返却を受ける	

引率者の役割	・研修者の安全管理を行う ・使用した研修室の後片付けの指導を行う ・用具の管理を行う
活動の留意点	・海浜に出る場合は、必ず海浜出入口を使用する(砂を館内にあげないため) ・活動する際は、机に新聞紙を敷く ・グルーガンの使用時、熱いのでやけどに気を付ける
「玄海の家」で準備できるもの	グルーガン(グルーガンの芯は団体準備物)、ざる、おろし金
利用団体で準備するもの	石・貝・松ぼっくりなどの自然物(「玄海の家」の海浜、敷地内)、木工用ボンド、グルーガンの芯、新聞紙、紙テープ、油性マジック、チョーク、ビニール袋等の作成に使用するもの 「かべかけ工作」追加準備物: 杉板・コルクボード・写真立てなどを人数分 (必要に応じて麻ひも、ヒートンなど) 「マグネット工作」追加準備物: マグネット人数分